

2003 くすのき
VOL. 14

樟樹

樟樹会 新加坡西馬華文學校同窓會

同窓生紹介

風雪32年

世良賢克 (昭和26年)



支持者の熱烈な支援に支えられ、1971年(38歳)に初当選。8期32年の議員生活の中で、私にとりましては、新居浜西高同窓会長時代、即ち創立70周年記念事業以後の10年間、そして議員生活最後の4年間は特筆される期間であつたと思います。

忙しい中楽しい時間も多く、しかも愉快であり、変化に富んだものでありました。今回は紙面の都合もあり、少し片寄りますが、報告させていただきます。

市民と住友

今年3月29日、日本の産業革命を象徴する別子銅山の支配人として郷土発展に貢献した広瀬幸平(1828~1914年)の銅像(人間国宝高村光雲作)の除幕式に出席しました。この銅像は、第二次世界大戦中、軍需物資として供出されたものを復元したもので、広瀬家の方々をはじめとして関係者の熱意により、残存した木型を手掛かりに、東京芸術大学スタッフによって、かつての別子銅山で産出した銅も使い、完成いたしました。

広瀬公園のある地元、上原地区住民の喜びも最高潮で、太鼓台を繰り出し花を添えました。

奇しくも旧別子山村と新居浜市との合併(4月1日)と時を同じくして式典・除幕式が行われました。

銅像の主である広瀬翁が、当時住んでいた邸宅を中心とする広瀬公園全体を、文化財として永久保存する運動を議員活動の重要課題として取り組んできましたが、32年経過した今年4月18日、遂に国の重要文化財の指定を受けるに至りました。同公園を多くの観光客にも見学しやすくしようとして、高速度(松山道)新居浜インターと直線と結ぶ道路を計画、これにより別子山村(マイントピア別子)広瀬公園が本市初の観光の名所となり、憩の場として定着しはじめています。

新居浜市議会第55代議長

平成11年4月市議会改選後の5月15日、臨時会においてハプニングが起こりました。議長を決める選挙において、最高得票者が2名となりました。当時3名の少数会派に属

する私ですが、クジ運にめぐまれ、結果、第55代議長に就任いたしました。

初めの1年間はまたたく間に過ぎ、翌年5月15日の議長人事の経過はどうであったのかということですが、冒頭、保守系会派などの一部議員が、私が議長としてふさわしくない行動をとったということで辞職勧告決議案を提出いたしました。その行動とは、私が宇摩郡別子山村を表敬訪問したことに對し「表敬訪問とはいへ新居浜市との合併を論議することは明白で、事前に議会への説明がなく、独断専行」との提案理由でしたが、辞職勧告決議に値しないとする反対討論などがあり、採決の結果否決されましたので、第55代議長の任期は結果的に2年となりました。

私は、平成10年の市議会活性化検討委員会でも「議長任期は1年ごとのタライ廻しではなく、任期は2年が望ましい」とされており、この時の事態は活性化のための生みの苦しみだと思っております。2年目に入った議長職は極めて忙しい、しかも楽しくも愉快な1年となったのであります。新居浜市議会で長年慣行になっていた「議長任期1年」が崩れました。任期1年では議会改革を思い立つたとしてもタイムリミットになり、議会活性化の支障になるケースが考えられ、その点で慎行打破は多大な意味があつたと思えます。

特に楽しかったこと……

日本テレビ系列

で例年全国放送されている、24時間テレビ・愛は地球を救うの放送。8・17・18日放送で、新居浜ステーションのイベントに絶大な協力と支援を果たしたとして、南海放送株式会社(土居俊夫代表取締役社長)から感謝状を受けたことです。25回目を迎えて、夏の恒例行事となつている。24



時間テレビ。愛媛県内では8月17、18の両日新居浜市のフジグラン新居浜の駐車場に特設ステージを構築募金活動を実施しましたが、この会場で18日の午後「宇宙メダカのお話し」コーナーに私が登場しました。アナウンサーにマイクを向けられましたので、日本の宇宙飛行士・向井千秋さんとともにスペースシャトル「コロンビア号」の船内で各種の実験をこなしたメダカや宇宙メダカの子供たちを育てることを通じて、生命・環境を大切にしようとする心や宇宙の夢を育む活動を地道に続けています。また、この日のステージには約8年前からメダカの住める環境づくりに取り組んでいる友人・知人が応援にかけつけ、さらに児童の代表も参加し会場を盛り上げてくれました。

会場のオープニング演奏のために友情出演して下さったNPO法人「瀬戸フィルハーモニー・オーケストラ」との打ち合わせで、特設会場は野外なので金管五重奏をお願いしました結果、場内外に澄み切った音色が響き渡りうっとりとしたものとなりました。

イベント全体の企画、準備の段階から、それぞれの分野で、新居浜市体育協会、新居浜料飲組合、フジグラン、南海放送のスタッフの皆さんの協力をいただきながらの大盛況でした。「家族で笑ってますか……？」をテーマにした「24時間テレビ」に大きく貢献するチャンスに恵まれ、大変に楽しい思い出となりました。

これからの想い

21世紀の初頭までの32年をまとめる時間はございませんでした。

その長い間ご支援・ご協力を賜りましたこと、皆様にご心より感謝申し上げます。今後は地域社会のさらなる発展を願うものです。現在地方政治は、市町村合併など諸課題が山積しており、解決のため早急な取り組みが必要であることは申し上げるまでもございません。

長い議員生活にピリオドを打ちましたが、いわゆる議員活動一辺倒の生活から、別の場所に身を置いたとき、いかに生きればよいのか、上手に処していくには、常に多様な価値観を持つ努力が必要ではないのでしょうか。

朝の雨 青葉も濡れつ

私も濡れつ 山頭火

雨の日をうらむことなく、雨音に耳を傾けながら、目に見える風景や心の中自然と語り合うのいいか。そんな思いで71歳を生きてゆこう。

つむじ曲がり

本宮 和代 (昭和28年)



私には「つむじ」が二つあります。一つは頭の中央の所定の場所。もう一つは左の額の生え際です。幼い頃の写真をみると「おかっぱ」の前髪。左側がいつも跳ね上がっています。子供の頃、友達に「つむじが二つある子は、つむじ曲がりの意地悪」とよくからかわれました。そのたび、心の中で「そんな事はない、私は意地悪なんかじゃない」と反発したものです。ですから、ことさら「いい子」になろうと努力したことはたしかです。

売られた喧嘩は買いましたが、自分から友達に喧嘩を仕掛けたことなどありません。まして、人に意地悪をしていじめたり、泣かせた事などありません。

そんな「いい子」だったのに、高校生の頃から、大人には何となく反抗するようになってきました。

ある時、私はテストを白紙のまま提出しました。そのテストはそんなにむずかしくはなく、授業をサボってなければ、誰にでも解けるような

問題だったので、私が、私はワザと白紙のまま出してしまいました。理由は忘れてしまいました。対するささやかな不満があつて、意地悪を試してみたくなったのだつたと記憶しています。

案の定、放課後、呼び出されました。先生は、白紙の答案用紙を前にして、「君にこの問題が解けないはずないだろう。どうしてこんな事をしたのだ。その理由を言いなさい」と言われました。私はかたくなに黙ってツツ立っていました。

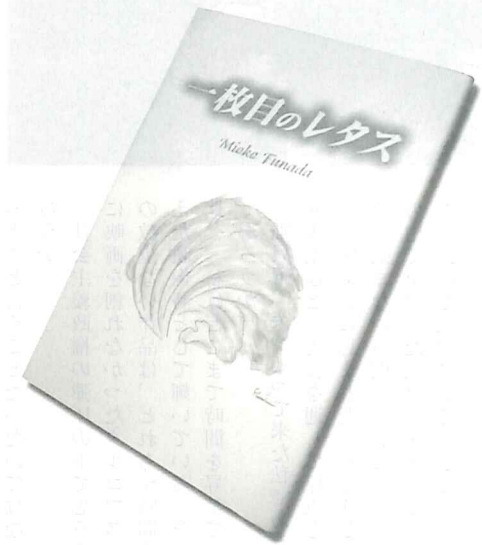
「こんな事をしたのでは、今学期の点はやれないぞ」と言われて、「結構です」とうそぶく私に、先生は笑いながら「困った人だ。一体どうしたと言ふのだ。まあ今回は大目に見るが……もう二度とこんなことはするな」と諭されました。

その時、黙って頭を下げるが、私つむじ曲がりは一つむじ曲が

りで意地悪なんだ」と感じた事を思い出しています。

もう半世紀も昔のことです。その頃の高校生活は、戦後の開放感にあふれ、やりたい勉強は自分で自由に選択できる、いい雰囲気がありました。そんな楽しい高校時代の中で、本当に恥ずかしい思い出です。大人になってパーマをかけるようになり、もう前髪が跳ね上がることはなくなりましたが、私はいつも二つつのつむじ……云々」を意識しています。

「俺の意見にお前は素直に。そうですね」と言うたことなかるうが、お前は本当にへソ曲がりな奴ちゃ」とは旦那の言。私は「ごもつとも」と言うより外ありません。



本宮和代さんが、船田滯子のペンネームで出版した随筆集「一枚目のレタス」

全国VCハローランチチェーン新居浜店

ハローランチいけちゃん

(有)池田食品工場

代表取締役 池田一夫 (昭和54年) ・池田睦子 (昭和29年)

〒792-0811 新居浜市庄内町3-11-24
TEL 0897-33-8311 FAX 0897-33-8319
フリーダイヤル 0120-218014 (ニイハマイチヨ)

同窓生紹介

弛まない流れの中で

石侍 露堂 (昭和47年)



Profile

石侍 露堂
(せじ るどう)

本名 飯尾 剛太郎

映画監督

昭和47年 普通科卒

<http://www.rodo.tv>

昨年、30年振りに同級生達と歓談する機会に恵まれた。私が監督した映画「宣戦布告」が新居浜の映画館で上映されるのを機会に懐かしい方々が歓迎会を催して下さったのである。

振り返って見ると、私の高校生活は学校や同級生達に常に背を向けて、唯只管自分の生き様を模索する日々であった。背を向け放しの私を温かく迎えて呉れる同級生や故郷というものは何と厄介で嬉しいものであろうか。

幼少より死を畏怖し、無や空というものを意識していた私は、生の証を得るが為に造形芸術をその解決策として選んだ。創造行為の中で生きる意味と証を見出そうとしたのである。「神は土から人を創った」という聖書の言葉に触発されたブルデルが、土を捏ね上げる事を旨とする彫刻家に人生を捧げて自分の生を燃焼させた如く、私の青春は絵筆を持って格闘し続けたといえる。しかし、その答えが待ちきれなかった私は造形芸術の極みに至らうと



するだけでなく、様々な活動にも身を投じ、気が付くと鉄のカーテンの向こう側(ソ連)に辿り着いていた。そこで奇妙な人物と出会う。映画監督のアンドレイ・タルコフスキーである。彼は、造形芸術も良いが時間芸術である映画も面白いぞ、と言う。「映画は総

合芸術だ」などと陳腐な事を言ったならば冷やかに見下すところであったが、時間の芸術という言葉に惹かれた私は、誘われるままに30歳を前にして映像の世界に足を踏み入れてしまった。

映像表現は時間と空間、そして動きというものを理解するところから始めなければならぬ。映画監督や映像演出という仕事の本義は、時間を如何にコントロールするかという処にある。決められた2次元のフレームと限られた時間の中で何事かを表現しなければならぬのが映像という仕事なのである。

時間と格闘する仕事に従事して思うことは、生の証しを求めて止まなかった私に映像世界への転進を勧めたタルコフスキーの真意が「時間に支配される表現活動」を通して「時間を超えてみよ」と言うことだったのではないだろうか。

社会主義政権の弾圧の下で思うように映画を創れなかったタルコフスキーの数少ない作品は、どれもが時間を超えた映像詩として輝いている。それに比べ、私はどこまで時間を昇華できたであろうか。

唯只管、突っ走って来た私であるが、同級生達との再会を通して原点を見つめ直す機会に恵まれた事を感謝している。弛まない時間の流れと空間の変化の中で出会った人々……。この奇しき出会いを大切にしていきたいと思います。

良薬に真心そえて健康指導

西之端薬局

☎792-0045 新居浜市中萩町1-5

☎ (0897) 41-3900

FAX (0897) 41-7548

薬剤師 進藤 覚 (昭和30年)

詩集「小さなひとみ」発行 ハタダができる社会貢献

(株)ハタダ社長
畑田 雅敏 (昭和44年)



Profile

畑田雅敏 (はただまさとし)

昭和44年 西高卒
48年 同志社大電気工学科卒
 (株)畑田本舗入社
 (現 株)ハタダ)
平成6年 代表取締役社長就任
13年 青年会議所新居浜シニアク
 ブ会長
 西高PTA会長
現在 愛媛経済同友会幹事
 新居浜菓子組合副組合長

夏の日射しに木々の緑も一段と濃く感じられるようになってまいりました。皆様には平素より何かとお世話になり、厚く御礼申し上げます。

さて私たちを取り巻く社会環境は、ドッグイヤーと呼ばれるほど技術革新のスピードが早く、10年前と比べても格段に生活が便利になっているのに気づきます。日本は大不況といわれながらも、世界の中で見れば大変裕福で恵まれた国であることには変わりはありません。ところが、物質的な豊かさに反比例して心の荒廃が叫ばれて久しく、このことが社会的な問題になってきているのも事実です。そのため、いろいろな形で社会を良くしていくという活動があちこちで起こってきています。

そのような中私共は、本来の企業活動とは別に、3年前に「小さなひとみの会」という会を発足しました。これは新居浜市内の全小学校から子供さんたちの詩を募集して、それを詩集にまとめて発行しようというものです。私の以前からの想いが多いの方々のお陰で実現したもので、現在では新居浜はもちろんのこと、東予管内のすべての小学校に無料でお配りしています。

私たちが小学生の頃といえばパソコンやワ

ードプロなどない時代でしたから、文集を作るにしてもすべて手作業によるものでした。今でもご自分の文集を大切にもっておられる方も多いと思います。たまに開いてその中にとは違った自分を見つけ、子供の頃の新鮮な感受性に驚かされてしまうこともおありではないでしょうか。

ところが現在ではパソコンが何でもやってくれますから、自分で鉛筆やペンを持つて書くことは本当に少なくなってきました。そのため自分で書く力が以前とは変化しているかもしれませんが、子供たちの感受性までもがそうであるとは思えないような気がいたします。子供たちの作文や絵を見て昔と何らかわらないキラキラしたものを感ずることはますますあります。私たちは子供たちの小さなひとみの奥で輝く光を大切に、大人社会の常識で消し去ってはいけないという想いから、「小さなひとみ」と名をつけ詩集の発行に至った次第です。ただこの活動は自分だけの思い込みでできるものではなく、特に学校現場の先生方にはお忙しい中活動にご協力していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。年4回発行という形をとりながら未長い活動にしていきたいと考えているところです。

また昨年の4月からは、南海放送のラジオ

番組の中にもこの詩集のコーナーを設け、月曜から金曜までのお昼休みの5分間、戒田アウンサーの声で作品を朗読してもらおうようにもなりました。詩をつくるのが好きになつたとか、自分の子供がつくった詩をラジオで書いて胸が熱くなったとか心温まるお手紙をいただくようになりました。さらにこの番組が、南海放送のテレビ、ラジオのすべての番組の中で最優良番組に選ばれるなど本当に嬉しい限りです。

ところで、今年は私共ハタダは創業70周年を迎えます。その記念に、ラジオで流れている作品の数々をCDに収め、製作いたしました。もしCDご希望の方がおられましたらご連絡いただければと思います。

最後になりますが、「小さなひとみ」の原点は、詩集に載った自分の名前や作品をみて、家族全員で喜びを共有し、宝物としてずっと持ち続けてもらえたらということなんです。これがハタダができるささやかな社会貢献と考えて、これからも皆様方のご協力を仰ぎながら微力を尽くしたいと願う次第です。

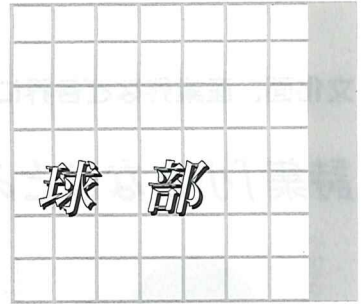


皮膚科・泌尿器科

中山皮膚科クリニック

中須賀町 (東予信金西入) ☎32-9062 院長 中山恵二 (昭和44年)

部活動の歩み



野球部

昨年の戦績

- 1 回戦 新西4-3野村
(10回サヨナラ)
- 2 回戦 新西5-4土居
(11回サヨナラ)
- 3 回戦 新西4-3南宇和
(9回サヨナラ)

- 準々決勝 新西3-2大三島
(9回逆転サヨナラ)
- 準決勝 新西3-8松山聖陵

「ミラクル新西」を再び

野球部 主将 三宅 勇輔



僕たち新居浜西高野球部は、現在、3年生8人、2年生7人、1年生11人の計26人で毎日練習に励んでいます。練習環境は他校に比べて決して恵まれているとは言えません。7限授業の日が多いので、練習開始は夕方5時前になってしまいがちです。照明設備もないので、練習は夏場でも午後7時には終了します。また、グラウンドもライト側が狭い上に、サツカー部との共用のため満足に練習することができません。特にフライの捕球の練習や、内外野の運球、走者をおいての実践的な練習がほとんどできません。

そんな中、昨年夏の県大会では、まだ記憶に新しい、劇的な「4試合連続サヨナラ勝ち」で11年ぶりのベスト4に進出しました。ここぞという時の集中力で、少ないチャンスをものしに、たくさんピンチを切り抜けていきました。あのときの感動は決して忘れることはありません。昨年の大会前は、2つ勝って、まだ1度も試合をしたことがない坊ちゃんス

タジアムで試合をすることが目標でした。1回戦の野村高戦を延長サヨナラで何とか勝ち、迎えた2回戦の土居高戦。僕にとつて最も忘れたい試合になりました。3点を追う最終回の攻撃も1アウト。もうこれで終わりか。ベンチ内に悲壮感が漂う中、そこからミラクル新西のドラマが始まったのです。先輩達が作ってくれた満塁のチャンスに僕がバッターボックスに立ちました。当たりは決してよくはありませんでしたが、内野安打となりついに同点になったのです。10回表の守備に向かうときの「まだ高校野球ができるぞ!」という先輩の言葉は忘れません。その試合もサヨナラ勝ちし、念願の坊ちゃんスタジアムで試合ができることになりました。

3回戦の相手は南宇和高校でした。倍以上のヒットを打たれ、毎回のようにピンチを招きました。9回表の満塁のピンチも先輩のフライングプレーでしのごぎ、迎えた9回裏。またもサヨナラ安打が飛び出し、坊ちゃんスタジアムに我が西高の校歌が響き渡りました。ついにベスト8進出です。翌日の準々決勝は初のベスト8進出で波に乗る大三島高が相手でした。またもや接戦となり、1点ビハインドで9回裏最後の攻撃を迎えました。しかし、ベンチは土居高戦とは違って悲壮感はありませんでした。むしろ必ず逆転できるという自信に満ちあふれていました。そして逆転サヨナラ勝ち。4試合連続サヨナラ勝ちという記録に残る「日本記録」快進撃でベスト4まで来る事ができたのです。結局、準決勝で敗退し、夢の甲子園出場はなりませんでしたが、

大満足の夏となりました。あれから1年。去年は先輩達が主役でしたが、今年は自分たちが主役です。新チームでの練習が始まったときには、先輩達に追いつき、追い越そうとがんばった僕たちでした。しかし、いざやってみると思うような試合ができません。同じようなミスを繰り返しては先生に怒られてばかりでした。はつきり言って僕たちは、課題を克服しようとする意識が小さすぎたのです。春の地区予選、新居浜市内大会で続けてコールド負けを喫って、やっとなんか意識が変わりました。最後の夏に向けて残された時間はわずかですが、昨年の再現を目指して努力を続けています。

さて今年のチームですが、例年以上にチームワークが抜群です。僕は正直を語入部するまでは高校の野球部は上下関係が厳しいと思っていました。ところが西高野球部は先輩後輩の仲がよく、思っていることは何でも自由に言える雰囲気でした。好プレーは誉め、ミスには容赦ない言葉がかかります。厳しい練習ではお互い励まし合っています。

こうしていい思い出ができたのも、野球をがんばってこられたのも、指導してくれた先生方をはじめ、両親や地域の人々、友人達の支え、応援があつたからだと思えます。こうしたすべての人々に対する感謝の気持ちを忘れずに、最後の夏を迎えるつもりです。これからも、いつまでも誰からも応援され、愛される伝統ある野球部を目指してがんばります。こんな野球部を温かく見守り、応援してください。いつか必ず甲子園に出場する日が来ます!



社会福祉法人

はびねす福祉会

理事長 長野 文彦 (昭和41年)

〒792-0017 愛媛県新居浜市若水町一丁目9-13 TEL(0897)31-5000(代) FAX(0897)31-5005

合唱部

歌 声 高 く 志 高 く

部長 高橋 祥子

2002年4月、私たち合唱部は初の混声合唱で活動を開始しました。

女声合唱だった頃は、「混声合唱がしたい」と思っていたものの、いざ実際に混声合唱を始めてみると、理想と現実との差を思い知らされることになりました。今までの女子だけの部というイメージの強さから来る男子部員の不足（現在では女子部員を上回る人数になっていますが）、パート数増加による練習場所の不足、さらに生徒だけで（指揮も含め）コンクールに出ようという私たちの無謀とも思える挑戦のため、多くの方々に支えていただきながらも、試行錯誤の連続でした。

そんな合唱部にも、これだけ他校に負けないという強みがありました。それは、自主性の高さと団結力。そのおかげで、奇跡とも思える速度で、私たちは上達していくことができたのです。

混声合唱を開始してからわずか3ヶ月後に行われた全日本合唱コンクールの愛媛県大会では金賞（グループ1位、総合2位）を受賞。続くNHK全国学校音楽コンクール県大会でも金賞を受賞し、両方とも四国大会出場を決めることができました。惜しくも、全国大会出場は果たせなかったものの、全日本の四国大会では、またも金賞を受賞することができました。正直なところ、県大会を突破でき

ばいいと思っていたので、金賞をいただいた瞬間の感激は、忘れることができません。

「私たちにとつての「熱い」夏が過ぎ去り、練習を重ねて迎えた11月。なんと、私たちは愛媛県高校総合文化祭で「最優秀賞」、つまり全国高校文化祭への切符を手にする事ができたのです。帰りのバスの中で、その知らせを聞いた私たちは、運転手さんの迷惑も考えず、ただただ歓喜の雄叫びを上げていました。

現在の合唱部は部員数40名を越え、音楽室が狭く感じられるほどになりました。人数が多くなるに従ってのさまざまな新たな問題を抱きつつも、部員一丸となって、全国高校文化祭、コンクールでの全国大会出場を目標に、日々努力を重ねています。混声合唱を始め、ちようど

1年。まだまだ未熟な私たちですが、志を高く持ち、更なる飛躍を目指して頑張っていきたいと思います。温かく見守ってください。



ミス花嫁候補大募集!

とき ▶ 平成15年8月31日(日)
PM6:00~9:00

ところ ▶ レイグラッツェふじ
2F:大ホール(高木町34-2211)

キリトリ線

申込用紙	氏名 (ふりがな)		
	住所		
	生年月日 昭和 年 月 日	TEL	
	勤め先		年齢

(注) スナップ写真も同封ください。なお写真は返却いたしかねますので、ご了承ください。

母校の概況

Nihama-Nishi High School

▼学校の説明責任

校長 藤原 恵



今年4月の人事異動で、図らずも輝かしい伝統と歴史を持つ新居浜西高校に勤務することとなりました。浅学非才の身、不安は多々ありますが、一生涯命がなげられますのでよろしくお願ひします。

同窓生の皆さんが、築き上げてこられた本校の伝統は「自主・自律」にあると考えています。自らを律して自学自習をさせ、世界をリードする人材の育成が、本校の目標であると理解しています。

また、本校は県下の高校の先陣をきって2学期制の導入をはじめとして、学校改革を積極的に推進してきています。その結果、15年春の大学入試では、東大4名、京大7名をはじめとして、国立大学約190名と言わずばらしい成績を取めました。今後ともこの改革の流れを緩めることなく、進学校としての期待に応えて参りたいと思います。

さて、今日の学校改革のキーワード

下に、「学校の説明責任」があります。「学校の常識は社会の非常識」と言われるような学校の閉鎖性を打破し、地域や保護者の方々、同窓会の方々に広く学校の様子や教育方針

について説明し、ご理解をいただきながら教育諸活動を行うことが求められています。その意味において、本校に着任して日が浅いわけですが、現時点で考えている学校改革の大きな視点について、ご説明したいと思います。

本校の特色を「魅力ある進学校」に求め、学校の自己点検・自己評価をきちんと行います。

具体的には、難関校といわれる大学の合格者を増やす、中堅校といわれる大学への手当てを十分に行う、学習不振者に対する手厚い指導をする、新居浜、西条・宇摩地区の優秀な生徒をもっと集める、教職員の指導力を伸ばす等々について、地道に計画的に実践し、生きる力と豊かな心をもった「西高生」を育み、愛媛をリードする「魅力ある進学校」にしたいと、決意を新たにしています。

同窓会誌「樟樹」の次号ではより具体的なお話ができるものと確信しています。どうか、今後ともご支援ご協力をお願いします。

▼教職員の異動

平成15年度の教職員異動は次のとおりです。

教員(転出者)		転入者		前任校	
校長 南 武夫	退職	藤原 恵	三崎	教頭 村上 勲	退職
教頭 村上 勲	退職	榎垣 美博	小松	教頭 木村 昌雄	宇摩
		玉井 治樹	今逢太		
国語 津村 和芳	引削	宮本栄美子	三島		
地公 森 美千代	南宇				
地公 村尾 淳	西条	佐伯 孝史	北条		
数学 近藤 貞敏	退職	高市佳代子	新採		
数学 渡辺 俊哉	松南	松田 智也	小松		
保体 遠藤 裕久	退職	佐伯 雄次	新採		
保体 幸田 洋子	退職	岡野 佳代	土居		
保体 高橋 正治	三島				
英語 藤田 克昌	教七	三好 徹明	今工		
英語 佐伯 忍	西条	村上 優子	松西		
家庭 阿部 恵	土居	濱田 己知	野村		
実助 石原 淑子	今西	中野 静江	西農		
事務 勇我 孝信	川江				

▼14名の同窓生が母校の教壇に立つ

(氏名)		(卒業年)		(教科)	
齋藤美智子	S 39	実助			
中野 静江	S 45	実助			
石川 温子	S 46	英語			
松本 裕子	S 47	英語			
岡田 緑	S 49	英語			
井上 邦智	S 52	養護			
渡辺 夏実	S 55	国語			
星加 修史	S 58	国語			
古見総一郎	S 60	保体			
五味 啓子	S 60	地公			
井川 紀英	S 61	数学			
山中 達也	S 63	英語			
	H 2	国語			

▼大学合格一覧

最近3力年の総合格者数と、大学別合格者数の一部を紹介しております。

	合格者数の一部を紹介しております		
	13年度	14年度	15年度
国立大	187	194	190
私立大	375	445	471
北海道大	1	0	4
東北大	1	3	0
筑波大	1	4	2
東京大	0	2	4

▼年間行事計画

今年度より、新学習指導要領により新科目「情報」を履修することになりました。

月	日	行事
3	19	卒業式
1	28	3年生家庭科学年未考査
12	17	大学入試センター試験
10	3	後期始業式
9	30	前期始業式
7	8	運動会
6	16	2年生修学旅行
5	7	1期考査
4	25	PTA総会
3	8	入学式・前期始業式
2	1	1年生集団宿泊研修
1	28	1年生大洲青年の家
3	19	後期終業式
2	1	前期終業式
1	19	卒業式

ユアーズ
YOURS

ちゃはる茶琥珀グループ

ご婚礼ご予約承り中

〒792-0021 新居浜市泉宮町5番8号
TEL(0897)33-3535・FAX(0897)33-5428

業規子さん 県新記録!!

(女子400メートル個人メドレー)

平成15年度県高等学校総合体育大会成績

5月30日から6月2日にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも180名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は以下の通り。

◆水泳部

男子 総合3位

50 m自由形 ①神野 25秒23
200 m自由形 ②小緑 2分2秒28

400 m自由形 ③太田 18分42秒91
1500 m自由形 ②新西 3分49秒79
(小緑 神野 阿部 村川)

100 m自由形 ①神野 55秒65
400 m自由形 ③小緑 56秒60
④太田 4分37秒41
⑤阿部 4分41秒75
800 mリレー ④新西 8分35秒35
(小緑 神野 阿部 太田)

〈全員四国大会出場〉

女子 総合4位

200 m自由形 ②伊藤 2分20秒97
400 m個人メドレー ①業 5分3秒45
(県新記録)

200 m個人メドレー ⑥小野 6分29秒67
①業 2分25秒14
(大会新記録)

400 mメドレーリレー ③新西 5分5秒60
(伊藤 業 小野 小島)

〈全員四国大会出場〉

◆バスケットボール

男子1回戦 新西60-62愛大付農
女子1回戦 新西67-83松山中央

◆バレーボール

女子1回戦 新西1-2今治南

◆バドミントン

男子団体 1回戦 新西3-0伊予農
2回戦 新西2-3宇和
女子団体 2回戦 新西3-1松山西
準々決勝 新西3-1松山南
準決勝 新西1-3西条農
〈女子団体は四国大会出場〉

◆ソフトテニス

男子団体 1回戦 新西3-0宇和島東
2回戦 新西1-2宇和島南
女子団体 1回戦 新西0-3川之石

◆卓球

男子団体 1回戦 新西0-3今治北
女子団体 1回戦 新西0-3愛大付農

◆サッカー

男子 新西1-2済美(延長)

◆ハンドボール

男子2回戦 新西14-23松山南

◆柔道

男子団体 1回戦 新西0-5南宇和

◆剣道

男子団体 2回戦 新西2-1今治東
3回戦 新西1-3八幡浜
女子団体 1回戦 新西1-2上浮穴

◆弓道

女子団体予選 14位

◆登山

男子 6位
女子 4位

◆創作ダンス

「闇を描く筆くピカソの『ゲルニカ』より」
5位



株式会社 四国竹林塗装工業

専務取締役 池田 昭大 (平成2年)

本社/新居浜市泉池町3-24

出張所/西条・伊予三島・丸亀

TEL (0897) 33-9381(代)

FAX (0897) 33-9384

stake@dokidoki.ne.jp

新居浜の動き

旧広瀬邸が 重要文化財に

新居浜市発展の礎となった別子銅山の中興の祖であり、我が国産業の近代化に貢献した住友家の初代総理事である広瀬宰平翁の邸宅で、現在は、市に寄贈され、広瀬歴史記念館の一部として、整備・公開している「旧広瀬家住宅」が、国の重要文化財に指定されました。

旧広瀬邸は、明治10年（1877）に久保田町に建築され、その後現在地である上原に移築、増築されました。

先駆的な近代和風住宅としての価値が認められた、東京駅など8件とともに指定を受け、市内では初めてのものですよ。

旧広瀬邸は、宰平翁の進取の気性を反映し、当時としては非常に珍しいガラス窓の採用や避雷針・洋式トイレ・暖炉などが設置されています。また、玄関前広場には、広瀬宰平翁の復元された銅像が設置されました。この銅像は、宰平翁の古希（満70歳）を記念して、製作されたもので、原型の木型は東京美術学校（現東京芸術大学）教授であった高村光雲らの手によるものでした。

昭和18年に軍需物資として献納され、消失していましたが、東京芸大で木型が発見され、宰平翁のこ子孫の意思により、復元されたものです。



避雷針を備えた旧広瀬邸（母屋）

癒しのくにへようこそ 別子山地区探訪

平成に入って県内で初めての合併が、今年4月1日新居浜市と別子山村で実施され、新生新居浜市が誕生しました。

別子山地区は、別子銅山に端を発

した歴史的交流や文化面における一体性などがありました。赤石山系などの山々に囲まれた豊かな自然環境は、今後市民をはじめとした来訪者への癒しの場となるものと思われまます。今回は、そんな別子山地区の見所をいくつか紹介します。

森林公園ゆらぎの森



ゆらぎ館と巨大パーゴラ

森林公園ゆらぎの森は、赤石山系の四季折々の景色が望める標高650、950mの場所に位置し、山間の生活風土や自然環境保護の大切さを楽しみ、遊びながら学ぶ施設です。

施設内には、宿泊・交流の場として利用できる「ゆらぎ館」、イベントなどに活用できる直径45mの大パーゴラ（藤棚）、押し花体験や七輪陶芸体験・木工体験ができる作業工房のほか、遊歩道も整備され、森の一日を満喫できます。

また、約27haに及ぶ園内には、約200種類もの山野草を楽しむことができます。

ゆらぎの森近辺の民家には、希少種となっているクマガイソウを育てている近藤清さん宅もあり、4月下旬から5月上旬にかけてが見頃ですよ。

☎0897-64-2222

別子観光センター

別子銅山最後の採掘現場であった笹津坑周辺の銅山川のほとりの豊かな自然環境を活かした施設で、宿泊・食堂を備えた「笹津山荘」と自炊を楽しむことができる「笹津キャビン」などがあります。

また、赤石山系登山の拠点ともなっており、たくさんの方々の登山客の方々にも利用されています。



自然あふれる別子観光センター

☎0897-64-2018

詳しくは、両施設を管理運営している(株)悠楽技の公式ホームページ（<http://www.besshiyama.com>）をご覧ください。

—— 鋳物で未来を開拓する ——

株式会社 藤田製作所

取締役副社長 藤田秀一郎（昭和55年）

株式会社プラント工業藤田 / 〒793-0046 愛媛県西条市港2-7 TEL(0897)53-8181・FAX(0897)53-8177
 本社工場 / 〒793-0046 愛媛県西条市港1-2(西条鉄工団地内) TEL(0897)56-5373・FAX(0897)56-9240
 西条東部臨海工場 / 〒793-0003 愛媛県西条市ひうち字西ひうち3番10 TEL(0897)56-4677・FAX(0897)56-4680

変化するものが 生き延びる

樟樹会会長

長野 文彦
(昭和41年)

先ごろ届いた母校からの大学新聞にダーウインの言葉が紹介されていました。「自然界では、最も強いものや賢いものが生き延びるわけではなく、変化するのが生き延びる」

「変化を恐れない同窓会の決断にご理解を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。」

進化論であまりにも有名なダーウインらしい言葉です。今風に解説すれば、時代に即応したダイナミックな発想と柔軟な思考が不可欠であり、何事も変化を恐れず強く生きるということでしょうか。新しい時代の同窓会の在り方が頻繁に議論されるようになってまいりましたが、存続のための変化が求められている所以でしょう。ご存知のように昨年より「同窓会・運営会費」の徴収を開始しました。将来に向けて同窓会会計の健全性と安定性を確保することが大きな目的です。

運営会費納入にご協力を！

現在まで同窓会の活動費は在校生が負担する入会金と5年ごとに発行する同窓会名簿の販売収入によりまかかってまいりましたが、同窓生が特別会員（母校職員経験者）を含めると3万人を超えるメンバーとなった今、4百人に満たない新入会者（今春の入会者は389名）からの入会金で同窓会の運営をまかなうには、将来に亘って困難が予想される事態となっております。

広く同窓会員の皆様に、同窓会の運営費をご負担いただけるシステム（規約）を早急に整備しなければとの声を受け一昨年の夏の同窓会総会で『運営会費制度』が承認された次第です。

「在校生だけに同窓会の運営費の大半を負担させつつけるわけにはまいらない」との思いは全ての同窓生が共有できるものと存じます。

所定の振込用紙をご利用になり、まず今年の運営会費（年額・3,000円）のご協力をお願いいたします。

口座名称 愛媛県立新居浜西高等学校樟樹会
口座番号 01640-6-40960

校内こんなところ(こと)ご存じですか？

第 4 回



運動場は芋畑に 後ろが家庭寮（昭和19年頃）

昭和14年に建てられた家庭寮

井上 和子（昭和20年）

女学校時代の家庭寮は、現在の運動場東南端にありました。そこは東西に広く、2/3位が農場で、西隅に農舎があり、そこにはミレーの晩鐘の絵が掛っていました。運動場の近く中央には鏡池もありました。家庭寮は東方1/3位の所に二階建てでした。私達が在学時には、卒業された上級生の方達がここで学習されて居られた様です。和服姿であちこちして居られました。戦争となり閉鎖された様です。其の後私達が四年生の時、各クラス何班かに分れて、寮生活が行われ、楽しい思い出となりました。

 株式会社 富士屋呉服本店

代表取締役 塩見 公男

新居浜市喜光地町1丁目10番37号 TEL (0897) 43-5123(代)

会員からの便り

■ 高校時代

西岡 勝 (昭和37年)

今年37年卒業生の作文当番らしくして、私のところに原稿依頼が来ました。新居浜では「サブプロク会」(36年度卒)がゴルフ同好会としてあります。東京、大阪では同期卒業生の会が毎年行われているようです。

高校時代で思い出するのは、運動会でしょうか。仮装行列、ファイアーストーム、フォークダンス。応援席も自分達で作ったように思います。後ろの壁の大きな絵も、誰が何処で描いたのかは知りませんが、クラスの誰かが描いたのでしよう。

応援合戦も現在のように派手ではありませんが、一応練習したように思います。今の西高の応援合戦は素晴らしいですね。よくみんなに統制の取れた応援が出来るものだと感心します。高校野球での応援も素晴らしいもので、これは西高生の物事に対する集中力の高さを示すものだと思います。中学生の中には、応援合戦をやりたいので西高に入りたい、と言う生徒

第8回近畿くすのき会 (加藤幸則会長) が開催された

6月18日12時から神戸市灘区の六甲山ホテルで、近畿地区西高卒業生43名が集い、第8回総会が開催された。昭和12年卒の進藤多恵子さんも太子町から参加された。本部からは、長野会長・藤原校長・下村、世良両顧問が参加した。加藤会長の「同窓会は永く続

も居るそうです。

もう一つ大きな行事に、男子のマラソン、女子のダンスがありました。私は運動が苦手な行事でしたが、ゴールしたあとで女生徒から貰う飴が嬉しかった事を思い出します。

当時、中央では学生運動が始まっていたらしく、同級生にも労働運動などに参加する人もいたようです。私は世情にうとかったので、誘われましたが断りました。良し悪しは別にして、世の中の事、国の事に関心があった西高生が居たということは、素晴らしい時代だったと思います。

西高同窓会に出席して歌う校歌が、どうも違うように思えて調べて見ると歌詞が変わっていました。いつ変わったのか知りませんが、我々が歌った歌詞が懐かしく思い出されます。

ることに意義がある。」との開会の辞に始まり、来賓祝辞、議事、と続き全議案承認された。懇親会では狂言「福の神」が演ぜられ、福引きに一喜一憂した。和やかな雰囲気の内、再会を約束し15時解散した。

同期会便り

■ 舞台裏は

『エライコッチャ』

代表幹事

塩見 敏之 (昭和34年)

今!!青春総会・還暦34会in沖繩に続き、パート3を紅葉の古都京都でと本部より指示を受け、『エライコッチャ』と私達きんき34会が準備を始めました。

企画会議と称して七人の幹事団が京都へ集まること数回、ランチタイムに生ビール加わると秋の同窓会の



ことを忘れミニきんき同窓会、四方山話に花が咲きつつ解散も度々。

秋真つ盛りの観光地京都の混雑振りを想像しながら、きんき34会幹事団心配しつばなし。

夏が過ぎる頃、鴨川川床料理を樂しみながら、ようやく最終企画決定する始末でした。

前回は還暦という節目の集まりで多くの賛同を得ましたが、大混雑の京都へ果たして何人来られるだろうと思ったのが大間違いで、申込みの仲間は70名を超える盛況。

当日、男性陣は瀬田ゴルフコースでコンペ。祇園の老舗料亭中村楼で

桑原運輸株式会社

代表取締役 桑原 征一 (昭和38年)

新居浜市西原町3-2-1 TEL (0897) 35-1111
FAX (0897) 34-2334

懇親会・ライトアップされた寺社観
光・二次会・翌日はコース分けての
観光・嵐山・天龍寺はやめとこコー
ス。

と企画会議はバッチリ。いよいよ
11月23日到来、22日前夜祭はゴルフ
仲間で懇親会。

当日、絶好のゴルフ日和に、琵琶
湖・瀬田川・比叡の山を眺めながら
満面笑顔のプレー！

残った幹事団と携帯で連絡取り
合いながら、渋滞に巻き込まれ時間
ギリギリに会場到着。参加者の方も
京都の予想外の混雑振りに車で10分
が1時間以上掛かり到着。

遅刻しながら続々と集まって来
る。40数年ぶりの友もいる。確かめ
合いながらの暫くはぎこちない挨拶
が続く。遠くは北の小樽から南は沖
縄まで同級生64名の大集合。

乾杯したあとは賑やかな懇談に花
が咲く。新居浜弁が主流だが、大阪
弁のきんき34会、綺麗な標準語を
話す関東34会の面々。やがては適
当に酔いも加わり新居浜ワールド。

予定の時間がアツと言う間に来て
しまい、ライトアップ寺社の時間が
ないと慌てたりで、大事な集合写真
を忘れる大失態の幕引きでした。翌
日3コースに分かれての紅葉スポット
と名所京都観光、翌々日、居残り組
と源氏物語の町・宇治探訪・楽しい
四日間がアツと言う間に過ぎまし
た。家に帰って家族にご苦労様と労
われましたゴキゲンの一杯。



来年は「帰って来いよ!!新居浜祭
り」総会が決まっており、これがま
た楽しみ。

同窓会ってほんと素晴らしいで
す!!一人ひとりが築いた穏やかで、
自信に満ち溢れた風(美)貌に新し
い勇氣とエネルギーが湧いてくるこ
とが嬉しいです。

必ず何かが見つかります。懐かし
い顔と出会い、自分と同じ年輪を感
じた時、ゆつくりと溶けるような、
心のどこかで助かったと思う自分を
感じると確信します。

今や高齢人口に集計される歳にな
りましたが、「34会は輝いてる西
高OB」としていつまでもプライド
とアピールスキルを持ち続けたいと
思います。

来年は「樟樹会で一番輝いた同期
会を開催しよう」を合い言葉に活動
しています。

寺岡先生の受章を お祝いして

竹脇 清子 (昭和44年)

平成15年1月2日、昭和44年卒業
生有志により、寺岡政晴先生の勲四
等瑞宝章受章記念祝賀会が、新居浜
のリーガロイヤルホテルで開かれま
した。

発起人は藤田伸夫さん。

幹事として準備に携わってくださ
ったのは近藤博司さんです。

私達44年卒業生は、原みさ子さん
が立ち上げてくれたインターネット
上の「44年卒業生のホームページ」
というものを持っておりまして、先
生の受章をどのようにお祝いしまし
ようかという相談を、ホームページ
内にある掲示板で楽しく繰り広げる
ことができました。

新居浜から遠く離れて暮す同期の
方達からも、掲示板上で色々なアイ
デアを出していただき、祝賀会へ向
けおおいに盛り上がりました。

祝賀会に登壇された先生とは、何
と34年ぶりの再会でしたが、先生の
お元気そうなお姿を拝見し、大変嬉
しく思いました。

祝賀会は終始なごやかな雰囲気
で、楽しく話がはずみましたが、中
でも先生の思い出話の数々には皆笑
い、頷き、時にはしんみりとし、あ
つという間に時間が過ぎました。

同じ時代の同じ時間を共有した師
弟ならではの良い会を持ったと思
います。
また、先生の祝賀会を機に、日ご
ろ疎遠になっていた同期の方達とも
旧交を温めることができました。
先生がおっしゃった、「朝起きて、
朝食をおいしく食べるのができ、
その一日を充実して暮せること。そ
れが幸せです」とのお言葉が大変印
象に残っています。
先生がこれからもお元気で、益々
ご活躍されますようお願い申し上げ
ます。
そして、私達卒業生も元気に頑張
れますように。またお会いしたいで
すね。



寺岡 政晴先生
受章記念祝賀会

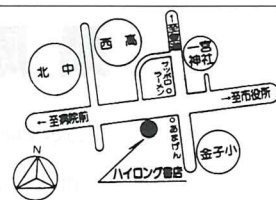
ハイロング商事株式会社

ハイロング書店

新居浜市一宮町2丁目1-41 TEL(0897)33-2932

代表取締役 近藤 博 司(昭和44年)

取締役 近藤 昌 子(昭和15年)



青春時代に タイムスリップ

明星 裕子（昭和45年）

平成15年1月2日の夕刻、リーガロイヤルホテルに参集したのは昭和45年に西高を卒業した87名の面々でした。私達は16年前に一度だけ同期会を開催しましたが、その時出席していない人にとっては、卒業後約33年ぶりのご対面です。当時担任だった先生方にもご案内状を差し上げたところ、越智謙先生、井手上光夫先生がご出席下さいました。

久しぶりに会う友の顔はみんなすっかり中年になって、もしどこかですれ違っても判らないのではないかと、思う位の変貌を遂げた人もいました。そんなよそよそしさの懸念はすぐに吹っ飛んでしまうほど短時間で昔の面影が蘇りました。

幹事代表の挨拶で始まり、越智先生のお言葉、物故者に黙祷、記念写真撮影の後、いよいよ乾杯です。バイキング形式の料理を自由に取り、アルコールも回っていい気分になった頃には、誰もがすっかり青春時代の自分に戻っていたような気がします。それぞれのテーブルで昔話に花が咲き、司会者が欠席者からののがきを讀んだり近況を伝えたりしても聞き取れないほど会場は熱くなりました。

最後にみんなで校歌や「高校三年

生」を合唱し、井手上先生のお言葉を頂戴した後、先生を拍手でお送りし、同期会を終えたのが午後八時：あつという間の二時間でしたから、その後リーガトップでの二次会に71名、三次会でも30名ほど残り、最後の四次会には15名：とみんな名残は尽きなかつたようです。

年を重ねるにつれて、昔の友達がかかしく、また友情の大切さを痛切に感じる昨今、私達はこれを機に、同期生への連絡を密に取り、数年毎に同期会を開催し、いつまでも交友を深めていきたいと思っています。



同期会のお知らせ

あなたのご出席楽しみに待っています！

西高34会総会 並びに懇親会

帰ってこいよ、新居浜祭りへ

日時 2004平成16年10月16日(土) 午後4時～
場所 リーガロイヤルホテル新居浜
会費 12,000円
連絡先 小林 康宏
TEL 0897-33-4781 (自宅)
0897-56-4550 (会社)
〒792-0005
新居浜市江口町16-42
E-mail ykoba@ma.akari.ne.jp

おひい、昭和34年の同期生集まれよ、5年に一度の集まりです。思い出深き勇壮な新居浜のお祭りを堪能してください。地元のみならず首を長くして待っています。是非、ぜひ、御参加下さい。

昭和42年同期会

日時 2004年(来年) 8月13日(金)
午後6時30分～

場所 リーガロイヤルホテル新居浜
〒792-0009 新居浜市前田町6-9
TEL 0897-37-1121

会費 8,000円位

昭和42年同期会を成功させる会
会長 山内 仁
連絡先 TEL 0897-33-4756

編集後記

最新のすばらしいニュースです。前号の「部活動の歩み」に掲載した物理実験部が、前号で発表した研究をさらに詳しくまとめた「トナーのパートナー」による回折格子の研究が国内で認められ、本年5月11日、18日、オハイオ州クリブランドにて開催された第54回国際学生科学技術博覧会(ISTE)に出場、見事、世界4位の栄冠を獲得し、凱旋いたしました。出場した池田舞さん(3年)は、「世界各国の高校生と交流でき、刺激も受けました。藤本先生の指導で、先輩と頑張った研究が評価され、感謝と嬉しさでいっぱい。これからもより一層努力したいと思います。」と喜びを語っております。

本年号(14号)も無事お届けできるようになり、ほつとしております。まだまだ未熟な編集委員会ですが、会員各位の温かいご支援を頼りに頑張っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

編集委員長 近藤 博司(昭44)

- 委員 藤本スマ子(昭18) 長野 文彦(昭41)
井上 和子(昭20) 近藤 司(昭42)
世良 賢克(昭26) 伏見 紀子(昭44)
武田 信之(昭28) 中野 静江(昭45)
安藤 正純(昭30) 安藤 寛和(昭48)
下村 隆男(昭30) 井川 紀英(昭63)
藤田 石根(昭31) 越智 孝司(平2)
桑原 征一(昭38) 山中 達也(平2)

発行所 樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-16

TEL 0897-32-4331

FAX 0897-32-4331

発行者 長野 文彦

編集者 近藤 博司

印刷所 株式会社サラト

発行日 平成15年7月15日